

一般社団法人ダム工学会 若手の会 「第10回 若手技術者のためのダム見学会」の開催報告

活性化推進小委員会

1. はじめに

一般社団法人ダム工学会 若手の会では、「ダム工学会の活性化と若手技術者に向けたダム理解向上を目的として、今後を担う若手技術者や学生の方が参画することができる企画の立案・運営」を行っています。

令和7年度は、ダム建設から様々な角度での管理・活用について2回に分けて学ぶ企画としました。第1回目となる「第10回 若手技術者のためのダム見学会」では、9月24日（水）から9月25日（木）の2日間にかけて、宮城県名取市にある川内沢ダムの建設現場、宮城県仙台市にある大倉ダムの現場見学会を開催いたしました。昨年同様1泊2日の宿泊をし、ダムを見学してきました。東京大学、法政大学の2大学より13名の学生にご参加いただきました。また、大学の先生やコンサルタント、都道府県庁職員などの応募もあり、昨年よりも多くの一般の方々にご参加いただきました。ダム見学会当日は、ダムを管理されている宮城県仙台地方ダム総合事務所様（以降、ダム管理者）、施工業者様や大倉ダム管理事務所の皆様にご協力いただき、大変有意義なものとなりました。

本稿は、ダム見学会の開催内容について報告するものです。



写真1 川内沢ダム（※1）



写真2 大倉ダム（※1）

（※1 宮城県 HP より）

2. 行程

今回の見学会は、下記の行程で開催いたしました。

○1日目（9月24日（水））

時刻	内容	備考
13:00	仙台駅 集合	
13:00	仙台駅 出発	
13:00~13:45	仙台駅 → 川内沢ダム	貸切バスにて川内沢ダムへ移動
13:45~15:45	川内沢ダム見学 (約2時間)	
15:45~16:30	川内沢ダム → 宿泊先	宿泊先：アパホテル (TKP 仙台駅北)
16:45~18:15	講義	内容：川内沢ダム事業・工事説明
18:30~	夕食・懇親会	

○2日目（9月25日（木））

1班 7:00~8:30	朝食 ※8:30 チェックアウト	
9:00~11:00	◆グループワーク発表 (約2時間)	テーマ「夜間施工の一般見学方法の 検討、建設現場での働き方改革」
11:00~12:00	宿泊先 → 大倉ダム	貸切バスにて移動
12:00~13:00	昼食	お弁当を事務局にて準備
13:00~14:20	大倉ダム見学 (約1時間)	
14:20~15:00	大倉ダム → 仙台駅	貸切バスにて移動

3. 川内沢ダムの建設現場見学

現場事務所にてダム管理者様、施工業者様より川内沢ダムの事業概要や工事内容についてご説明いただきました（写真3）。

その後、バスで川内沢ダムの建設現場へ移動し、ダム管理者様及び施工業者様にはダムを間近に見ながら工事の進捗状況や各施設の機能・特徴をご説明いただき、ダムに対する理解を深めることができました（写真4）。



写真3 説明状況（現場事務所内）



写真4 説明状況（建設現場内）

普段見ることのできないコンクリート製造設備やタワークレーンをはじめとするダムの施工設備を見学し、参加者たちは貴重な経験をすることができました（写真5）。施工現場近傍の“かわうちさわダムインフォメーションセンター”にて3Dプリンターで作成した川内沢ダム模型の見学や、屋上から施工現場全体を見学することもできました（写真6）。



写真5 施工状況見学



写真6 インフォメーションセンター

4. 講座

川内沢ダム建設現場の見学後、宮城県 土木部河川課ダム整備班 技術主査 渡 邊暁 様より「宮城県におけるダム事業の取組」について（写真7）、西松・奥田・グリーン企画特定建設工事共同企業体 副所長 白武 知浩様より「川内沢ダムにおけるコンクリート打設」について（写真8）各30分ずつご講義をいただきました。

その講義は、普段ダム事業に関わる仕事に携わっている若手の会委員からも新鮮な印象を受けるものでした。



写真7 宮城県 渡様 ご講義



写真8 西松・奥田・グリーン企画 JV 白武様 ご講義

5. グループワーク

次に、グループワークを実施し、ダムの夜間打設が増えるなかで「夜間施工の一般見学方法の検討」や、ダムの施工現場でも課題となる「建設現場での働き方改革」をテーマにそれぞれが考えたアイデアを発表しました（写真9、10）。



写真9 グループワークの様子



写真10 発表の様子

どちらか（または両方）のテーマについて「課題」「背景・現場条件」「改善目標（提案内容）」「検討
していて難しかった・悩んだポイント」等、それぞれのグループで考え、どの発表も斬新なものばかり
であり、学生達が熱意をもってグループワークに取り組んでくれたのが伝わってきました。

また、学生達は日頃接点のない方々と交流することもでき、非常に有意義な時間となったと思います
(写真11、12)。



写真11 付箋を使い意見を出し合う



写真12 発表用紙作成

6. 大倉ダムの現場見学

大倉ダム管理事務所では大倉ダムの概要についてご説明をいただいた後、制御室も見学させていただ
きどのようにゲートを操作をしているか教えていただきました。また、日本でも珍しいダブルアーチ式
コンクリートダムの堤体を天端から見学させていただきました(写真13、14、15)。

参加者からの積極的な質問も出され、参加者のダムへの興味・関心がこの2日間でより高まったこと
が感じられました。



写真13 大倉ダムの概要説明



写真14 ゲート操作室



写真 15 大倉ダム天端より



写真 16 天端での集合写真

7. おわりに

二日目はあいにくの雨となってしまいましたが、ダム管理者様や施工業者様の皆様や参加者にご協力いただき、無事今年度も現場見学を終えることができました。

普段見学できないようなものを見ることができ、いろいろな方々と交流を深めることができ、充実した見学会になったかと思いました。

若手の会では、今後もダムの最新の動向に着目し、ダム見学会や勉強会を開催しつつ、多くの皆様にダムについて興味を持っていただけるような活動を続けていきたいと考えております。

最後になりますが、今回ご協力いただいた宮城県仙台地方ダム総合事務所の職員の皆様、**西松・奥田・グリーン企画特定建設工事共同企業体の皆様**、若手の会実行委員の皆様、ならびに、ご協力いただいた皆様に改めてお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。



写真 17 川内沢ダムでの集合写真



写真 18 懇親会後に撮影